

浜田廣介 原作 60分

劇団め組名作劇場
Bグループ作品
低学年用 | 高学年用

泣いた赤おに



あらすじ

人間たちと仲良くしたい赤おにくん。でも、人間たちは、こわがって誰も近づこうとしません。みかねた青おにくんは、親友赤おにくんのため、一大計画を立てました。

計画は大成功。赤おにくんの家には、毎日のように村人たちが、遊びにくるようになりました。大喜びの赤おにくん。でも……

なぜ、赤おにくんは泣いてしまったんでしょう。

『泣いた赤おに』は、山形が生んだ童話作家 浜田廣介の珠玉の名作です。友情がテーマとなるこの日本昔話は、いつまでも心に根付きあたたく生き続ける事でしょう。幼い頃に受けた感動は、必ず成長の糧となるはずです。

太宰 治 原作 80分

走れメロス



あらすじ

妹の婚礼の衣裳を買いにシラクスの街にやってきたメロスは街の異変に気付きます。道行く人に尋ねると、「王が、妄想に取り付かれ、街の人間を皆殺しにしている」というのです。激怒したメロスは王城に乗り込みますが、たちまち捕えられます。死を覚悟したメロスでしたが、ひとつだけ心残りがありました。それは、妹の事です。メロスは王に、妹の結婚式を挙げさせ、帰ってくる為の三日間の猶予を願い出ます。王は許しますが、それには苛酷な条件が付けられました。

「約束通り帰らねば、人質となった親友のセリヌンティウスを処刑する。」と云うのです。

信義は必ず神に通じるものとして信じ、義務遂行の為に力の限り走り続けるメロス。王の乱暴を諫める為に正義を貫くメロス。どんな困難も乗り越えてゆくメロスの姿が、鮮やかに描かれた、胸のすくような作品です。

『走れメロス』は昭和15年(1940年)作者が31才のとき「新潮」に発表した作品です。この作品は古くから語り継がれた伝説と著名な詩人シルレルの詩を題材にして書かれたものです。人間関係で、もっとも大切な「信頼」を高らかにうたいあげたこの不朽の名作の完成も、太宰治にしてはじめて可能になったのです。

劇団め組は昭和59年より“愛と感動を届けよう”と全国の会館や小・中学校に、世界の名作の巡回公演を開始しました。私達は全国の子供達に『愛とは、友情とは、そして勇気や真の正義とは一体何か』等の人間としての普遍的なテーマを問い続けていきたいと願っております。これからも江戸時代の火消し集団“め組”のように、若さと躍動感に溢れ、情熱と誇りを失わず、より良い作品をお届けいたします。

(株)劇団め組

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-35-10

TEL:0422-22-0749 / FAX:0422-22-0294

■ホームページアドレス <http://www.gekidan-megumi.co.jp/> ■メールアドレス info@gekidan-megumi.co.jp